

街のかかりつけドクター 2020

教えて ドクター

医療法人 藻友会
いしやま形成外科クリニック
石山 誠一郎 院長



日本形成外科学会認定形成外科専門医。北海道大学形成外科客員臨床講師

「眼瞼下垂（がんけんかすい）
～加齢に伴うまぶたのたるみ～」

眼瞼下垂とは、まぶたが垂れ下が
り、目が十分開きにくい状態のこ
とです。生まれつきまぶたが下
がっている先天性眼瞼下垂と、日
を追うごとにだんだんとまぶた
が下がってくるような後天性眼
瞼下垂があります。

後天性眼瞼下垂の多くは、まぶ
たの皮膚のたるみを伴い、まぶた
の支持組織（眼板というコラーゲ
ンのかたまり）とまぶたを持ち上
げる筋肉の接着部分（拳筋腱膜）
が弱まり、筋肉の動きがストレー
トに伝わらなくなるために起こ
ります。

眼瞼下垂は、長時間のパソコン
・スマートフォンの使用などで
目を酷使する人や、コンタクトレ
ンズの長期使用、アトピー性皮膚

炎、花粉症、過剰なメイク・メイク
落しなどで生じるまぶたのこ
すれ、白内障の手術後などさま
ざまな原因で発症します。言い
かえれば、加齢によるまぶたの
皮膚、腱膜、筋肉の変性による老
化現象の一つと考えられますの
で、たれにでも起こりえる疾患
といえます。

眼瞼下垂がもたらす さまざまな症状

眼瞼下垂を放置すると、徐々に
視野が狭くなり、視力が落ち、日
常生活に不便が生じます。まぶた
が下がっていると、知らず知らず
のうちに、あごを上げて視界を得
ようとする動きが起こります。さ
らに額の筋肉を過度に収縮させ、
まゆ毛を上方へ引き上げること
で目を開けるクセがついてくる
ため、額に深いしわが刻まれ、目

とまゆ毛の距離が離れた、いわゆ
る老人様顔貌（おけ顔）となっ
ていきます。また、額の筋肉は頭頂
部から後頭部、後頸部、肩へと続
く筋肉と連動しているため、これ
らの筋肉の緊張が強くなること
で、眼精疲労、頭痛、頸こり・肩こ
りといった症状が起こります。さ
らに、まぶたにある筋肉の中には、
いくつかの神経受容体（周囲
の変化を脳に伝えるセンサー）が
あり、腱膜が緩むことでこれらの
神経刺激のバランスが崩れ、めま
いりや不眠、まぶたの痙攣などの随
伴症状を起こすこともあります。

眼瞼下垂の セルフチェック

- まぶたが重く感じる。
 - 目が開けにくく、年齢とともに
小さくなってきた。
 - 眠たそうな顔をしていると言
われる。
 - 頭痛や肩こりがある。
 - 上まぶたのくぼみが出てきた。
 - 額に深いしわができた。
 - 夕方になると、目の奥や額に痛
みを感じる。
- 右記の内3項目以上に当てはま
る方は眼瞼下垂の疑いがあります。
相談ください。

眼瞼下垂の治療

治療は、局所麻酔での手術が必要
です。まぶたの皮膚のたるみや
まぶたを挙げる筋肉の機能の程
度・状態によって、垂れ下がった
余分な皮膚と皮下組織などを切
除する手術（眼瞼余剰皮膚切除）
や、腱膜を本来あるべき正しい眼
板の位置に固定し直す手術（拳筋
前転法）などを行います。術後は
まぶたの腫れや、皮下出血などが
生じるケースもあり、数日程度の
入院治療をお勧めしています。

眼瞼下垂の手術はまぶたの開
けやすさや、十分な視野の獲得な
どの機能改善が目的となります
が、目の開き具合や二重まぶたの
位置・左右対称性など、わずかな
変化がその人の顔の印象を大き
く変える場合があります。まぶた
を開きすぎてしまったり、びくっ
りしたような顔、驚愕の表情にな
ったり、目つきがキツくなった
りする方もいるため、手術に際し
ては機能面のみならず、整容面の
バランスにも十分な配慮が必要
となります。眼瞼下垂でお困り
の方はぜひお近くの形成外科へご
相談ください。